

ONWARD

2023年2月期 第3四半期

決算説明資料



2023年1月12日

株式会社 オンワードホールディングス

本日は、当社グループの第3四半期決算内容につきまして、決算説明資料を用いてご説明をさせていただきます。

今回の主なポイントは2点。売上及び各段階利益で堅調に推移をし、第3四半期累計で通期予想値を上回る数値となったこと、足元の状況を踏まえ上方修正を行うことです。

まず、決算説明資料の4ページをご覧ください。

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ
ヒトと地球に潤いと彩りを



Contents

目次



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

01	決算の概要	P. 3
	1. 決算ハイライト	P. 3
	2. 2023年2月期 第3四半期決算実績	P. 6
	3. 2023年2月期 通期業績予想の修正	P.11
02	TOPICS	P.13
	1. OMO戦略	P.13
	2. アパレル事業	P.15
	3. ライフスタイル事業	P.17
03	サステナブル経営	P.19
04	財務状況	P.21
05	DATA BOOK	P.25

ICB



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

01

決算の概要

1. 決算ハイライト
2. 2023年2月期 第3四半期決算実績
3. 2023年2月期 通期業績予想の修正

売上高

1,304 億円

前年同期比+60億円

営業利益

43 億円

前年同期比+53億円

経常利益

47 億円

前年同期比+55億円

当期純利益

27 億円

前年同期比△54億円

- 第3四半期累計の売上高は、オンワード樫山を中心に主力のブランド事業の復調が鮮明となったこと、OMOサービス「クリック&トライ」を導入した店舗の販売が好調に推移したことなどから、前年同期比60億円増(+5%)となった。
- グローバル事業構造改革の成果に加え、在庫の圧縮や値引き販売の抑制などにより売上総利益率が向上(52.6%→55.7%)する一方、販管費率も着実に低下(53.4%→52.4%)した。
- この結果、第3四半期累計の営業利益及び経常利益は黒字転換を達成した。
- なお、第3四半期累計の当期純利益については、前年同期に大きな不動産売却益の計上という特殊要因があり、その反動から減益となった。

こちらに、決算ハイライトとして第3四半期累計期間の連結決算実績のポイントを記載しております。

第3四半期累計期間の連結実績は、売上高はオンワード樫山を中心としたブランド事業の復調とOMO戦略の加速などにより、前年同期比60億円増の1,304億円となりました。利益面では、在庫圧縮や値引き販売の抑制などによる売上総利益率の向上と販管費率の低下により、営業利益は53億円増の43億円、経常利益は55億円増の47億円となり、ともに黒字転換を達成いたしました。

当期純利益については、前年同期に不動産売却益の特殊要因があったため、その反動で減少しております。

続きまして、5ページをご覧ください。

決算ハイライト：2023年2月期 通期業績予想の修正

ONWARD

売上高

1,750 億円

前回予想比 +12億円
前期比 +65億円

営業利益

50 億円

前回予想比 +9億円
前期比 +61億円

経常利益

52 億円

前回予想比 +9億円
前期比 +47億円

当期純利益

26 億円

前回予想比 +4億円
前期比 △60億円

- 第3四半期連結累計期間および足元の売上高は、カスタマイズを含めた顧客本位の商品施策が支持されていることや、OMOサービスを導入した店舗を中心に引き続き販売が好調であることから、アパレル事業、ライフスタイル事業ともに堅調に推移している。
- また、値引きを極力抑える販売施策の徹底により、売上総利益率が前回予想を上回る一方で、グローバル事業構造改革の進捗による販管費の効率化も進んでいる。
- この結果、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および当期純利益は、いずれも前回の通期予想を上回った。
- 以上を踏まえて、通期の業績予想を上方修正する。

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

昨年9月27日に、通期業績予想の修正発表をさせていただきましたが、昨日、本年度2度目となる通期業績予想の上方修正を公表させていただきました。

修正後の業績予想値は、前回予想と比べ売上高が12億円増の1,750億円、営業利益は9億円増の50億円、経常利益は9億円増の52億円、当期純利益は4億円増の26億円を見込んでおります。今回の修正の理由としましては、第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および当期純利益が、いずれも昨年9月に発表した通期業績予想を上回り、また、足元の状況について、引き続き販売が堅調に推移していることによるものです。

以上が、今回の決算のハイライトとなります。

それでは、当第3四半期の決算の詳細についてご説明いたします。

7ページをご覧ください。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

01

決算の概要

1. 決算ハイライト
2. 2023年2月期 第3四半期決算実績
3. 2023年2月期 通期業績予想の修正

2023年2月期 3Q累計 連結決算実績



- 売上高は、前年同期から60億円(5%)増加し、1,304億円に拡大。
- 営業損益は、前年同期から53億円改善し、43億円の黒字化を達成。

(百万円)	2022年2月期		2023年2月期		前年同期比			
	3Q累計	売上比	3Q累計	売上比	増減額	増減率	売上比増減	
1	売上高	124,355	-	130,397	-	+6,042	+4.9%	-
2	売上総利益	65,459	52.6%	72,625	55.7%	+7,166	+10.9%	+3.1%
3	販管費	66,407	53.4%	68,310	52.4%	+1,903	+2.9%	△1.0%
4	営業利益	△948	-	4,315	3.3%	+5,263	↗	↗
5	経常利益	△759	-	4,698	3.6%	+5,457	↗	↗
6	当期純利益	8,082	6.5%	2,723	2.1%	△5,359	△66.3%	△4.4%
7	EBITDA*	2,832	2.3%	8,244	6.3%	+5,412	+191.0%	+4.0%

* EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

こちらは、連結合計の実績数値をお示しております。真ん中オレンジで囲った部分が第3四半期累計実績となります。

項目番号1番、売上高は、前年同期比4.9%の増加となりました。OMO戦略を加速させるオンワード樫山を筆頭に、大和、クリエイティブヨーコなどの国内ライフスタイル関連事業も堅調に推移し、国内事業を中心に増収となりました。

2番、売上総利益は前年同期比10.9%増の、726億2千5百万円。売上総利益率は前年同期から3.1%向上し、55.7%となりました。上期に引き続き、オンワード樫山で値引き販売の抑制および在庫一元管理に伴う効率化などが寄与いたしました。

3番、販管費は前年比2.9%増の683億1千万円となりました。売上高の増加に伴い、賃借料等は連動して増加いたしましたが、グローバル事業構造改革を踏まえ適切に経費コントロールができております。また、前年同期に13億円のコロナの臨時休業に係る固定費を特別損失に振り替えた影響を除くと、実質前年同期とほぼ同水準となります。

その結果、4番、営業利益は43億1千5百万円、前年同期から53億円改善し黒字転換いたしました。

7ページの表中には記載がございませんが、4番営業利益と5番経常利益の間の営業外損益において、為替が大幅に円安に振れたことによる為替差益の増加などにより、経常利益は営業利益から4億円の増加、前年同期に対し55億円増の46億9千8百万円となりました。

6番、当期純利益については、27億2千3百万円となりました。こちらも表中に記載はございませんが、内容は特別利益で第1四半期のガムのホテルの売却に伴う売却益12億円、持ち合い解消に伴う投資有価証券の売却益1億円、特別損失については固定資産の減損損失7億円、これに法人税等マイナスがあります。結果、当期純利益については前年同期比66.3%減となっております。

7番、EBITDAは、前年同期に対し54億円増の82億4千4百万円となりました。

続きまして、8ページをご覧ください。

2023年2月期 3Q累計 セグメント別売上高・営業利益



- 国内事業は、アパレル事業が増収・営業黒字転換、ライフスタイル事業は増収・増益。
- 海外事業は、イタリア事業の撤退によりアパレル事業は減収、ライフスタイル事業は増収・営業損益改善。
- 海外の営業損益は、前年1Qにイタリア事業撤退前の特需があったことにより、前年同期比で損失が一時的に拡大したが、同事業の営業損失は2Q以降解消。

(百万円)			2022年2月期	2023年2月期	前年同期比	
			3Q累計	3Q累計	増減額	増減率
1	アパレル	売上高	89,518	95,403	+5,885	+6.6%
		営業利益	△1,268	4,069	+5,337	↑
2	ライフスタイル	売上高	27,372	29,200	+1,828	+6.7%
		営業利益	2,070	2,433	+363	+17.5%
3	国内合計	売上高	116,890	124,603	+7,713	+6.6%
		営業利益	802	6,502	+5,700	+710.7%
4	アパレル	売上高	13,424	10,946	△2,478	△18.5%
		営業利益	△531	△1,035	△504	↓
5	ライフスタイル	売上高	1,186	1,488	+302	+25.5%
		営業利益	△557	△240	+317	↑
6	海外合計	売上高	14,610	12,434	△2,176	△14.9%
		営業利益	△1,088	△1,275	△187	↓
7	連結合計	売上高	124,355	130,397	+6,042	+4.9%
		営業利益	△948	4,315	+5,263	↑

※ 国内アパレル (オンワード樺山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社)
 ※ 国内ライフスタイル (チャコット クリエイトブユーコ 大和 他7社 計10社)
 ※ 海外アパレル (JOSEPHグループ8社 J.PRESS 恩瓦徳時尚貿易 他8社 計18社)
 ※ 海外ライフスタイル (フリードオブロンドン 他3社 計4社)
 ※ セグメントの内訳は各社の単純合算 連結合計には相殺消去含む

こちらには、事業セグメント別の売上高および営業利益を記載しております。

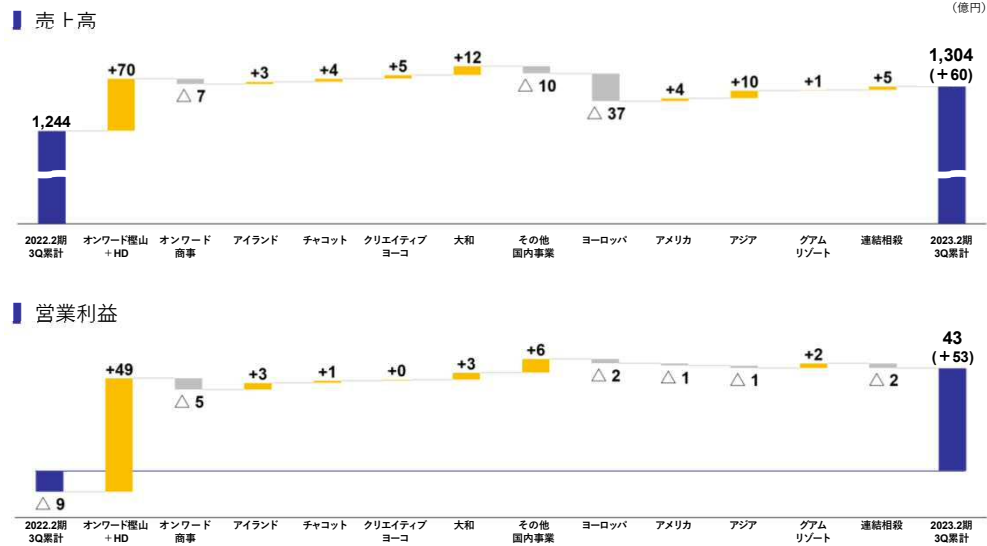
オレンジで囲った部分になりますが、国内事業は、アパレル事業が増収、黒字転換、ライフスタイル事業は増収増益となり、国内事業合計の売上高は前年同期比6.6%増、金額にして77億円増加しました。営業利益は前年同期比57億円の増加となりました。

海外事業は、イタリア事業の撤退によりアパレル事業は減収、撤退前の特需など一時的な要因で減益となりました。ライフスタイル事業は増収、営業損益は改善しました。海外事業合計の売上高は前年同期比マイナス14.9%、金額にして22億円減少しました。営業損失は、前年から金額にして2億円増加しました。コロナやロシア、ウクライナ問題などの影響も含め、引き続き課題となります。

次に、9ページをご覧ください。

2023年2月期 3Q累計 事業会社別売上高・営業利益増減 ONWARD

- 売上高は、イタリア事業撤退によるヨーロッパの減収(△37億円)をオンワード樫山の増収(70億円)等で補い、60億円の増収。
- 営業利益は、オンワード樫山の増益(+49億円)等により、黒字転換を達成。



こちらには、第3四半期累計の事業会社別売上高と営業利益の前年対比を、ウォーターフォールチャートで整理しております。

上期の傾向と大きく変わらず、売上高、営業利益で共通して大きい変動要因は、オンワード樫山の増収増益、ヨーロッパ、イタリアの事業撤退に伴う減収の影響です。

次に10ページをご覧ください。

2023年2月期 3Q累計 販路別売上高

- リアル販路(百貨店+SCその他)10%増収。
(廃止店を除く既存店ベースでは16%増収)
- ECは10%増収。EC化率は29%、自社EC化率は86%と高水準を維持。

(百万円)	百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
1 オンワード樺山	29,951	24,148	54,099	18,218	2,553	20,771	74,870	27.7%	87.7%
2 売上構成比	40.0%	32.3%	72.3%	24.3%	3.4%	27.7%	100.0%		
3 前年同期比	+15.2%	+9.6%	+12.7%	+2.7%	+23.7%	+4.9%	+10.4%	△1.5%	△1.9%
4 国内EC対象事業会社8社*	7,056	17,221	24,277	9,981	1,907	11,888	36,165	32.9%	84.0%
5 国内EC対象事業会社計	37,007	41,369	78,376	28,199	4,460	32,659	111,035	29.4%	86.3%
6 売上構成比	33.3%	37.3%	70.6%	25.4%	4.0%	29.4%	100.0%		
7 前年同期比	+12.4%	+7.5%	+9.7%	+8.3%	+18.2%	+9.5%	+9.7%	±0.0%	△1.0%

* Eコマースを運営している以下国内事業会社8社の合計

(アイランド、ティアクラスセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)

こちらは、第3四半期累計の販路別売上高を記載しております。

第3四半期累計期間における対象事業会社の販路別売上高は、リアル販路が前年同期比9.7%増、ECが前年同期比9.5%増、となりました。また、EC化率は29%。自社EC比率は86%と依然高水準を維持しています。

続きまして12ページをご覧ください。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
11

01

決算の概要

1. 決算ハイライト
2. 2023年2月期 第3四半期決算実績
3. 2023年2月期 通期業績予想の修正

2023年2月期 通期業績予想の修正

- 売上高は、前回予想から12億円上方修正し、前期比65億円増加の1,750億円を予想。
- 営業損益は、前回予想から9億円上方修正し、前期比61億円改善、50億円の黒字を見込む。

(百万円)	2023年2月期	2023年2月期	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)	2022年2月期	増減額 (A-C)	増減率 (A/C)	
	今回予想 (2023年1月発表)(A)	前回予想 (2022年9月発表)(B)			前年度実績(C)			
1	売上高	175,000	173,800	+1,200	+0.7%	168,453	+6,547	+3.9%
2	売上総利益	96,700	94,000	+2,700	+2.9%	87,612	+9,088	+10.4%
3	販管費	91,700	89,900	+1,800	+2.0%	88,691	+3,009	+3.4%
4	営業利益	5,000	4,100	+900	+22.0%	△1,079	+6,079	
5	経常利益	5,200	4,300	+900	+20.9%	507	+4,693	+925.6%
6	当期純利益	2,600	2,200	+400	+18.2%	8,566	△5,966	△69.6%
7	EBITDA*	10,000	9,080	+920	+10.1%	3,915	+6,085	+155.4%

* EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

こちらでは、通期業績予想の修正について説明をさせていただきます。

冒頭申し上げました通り、昨日、2023年2月期通期業績予想を再度修正させていただきました。

オレンジの欄が今回修正した業績予想数値となります。

冒頭ご案内いたしました通りの数値となりますが、改めて2023年2月期通期の修正後の業績予想値は、売上高12億円増の1,750億円、売上総利益27億円増の967億円、営業利益9億円増の50億円、経常利益9億円増の52億円、当期純利益4億円増の26億円となります。

13ページ以降はトピックスを記載しております。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

13

02

TOPICS

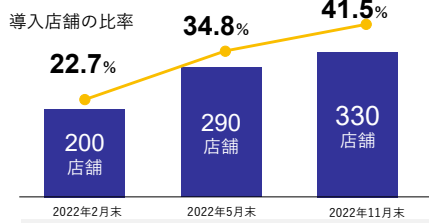
1. OMO戦略
2. アパレル事業
3. ライフスタイル事業

1. OMO戦略

ONWARD

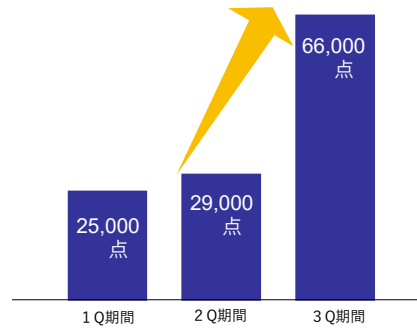
- オンワード樫山のOMOサービス「クリック＆トライ」導入店舗数が**330店舗**に拡大。
- 導入店舗(既存)の売上水準は2019年度の100%に回復。未導入店舗の81%を**19ポイント**上回る。
- 「クリック＆トライ」での予約点数は、2Q期間の29,000点から3Q期間は**66,000点**と急拡大。

■ クリック＆トライ導入店舗数の推移



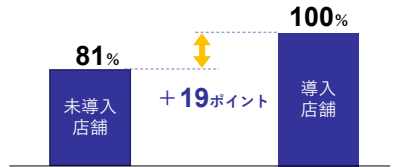
✓ オンワード樫山の4割超の店舗へ導入済
今後更に導入拡大予定

■ クリック＆トライ 予約点数の推移



✓ 「クリック＆トライ」の利用は3Qに急増

■ 売上高：2022年度対2019年度の比較



✓ 「クリック＆トライ」導入により売上高を大きく押し上げ

14ページは、オンワード樫山のOMO戦略になります。

当第3四半期末時点で、オンワード樫山の4割を超える店舗でOMOサービスの『クリック＆トライ』を提供しており、これがオンワード樫山の業績の改善に大きく貢献しています。

第3四半期累計で、『クリック＆トライ』サービスを導入した店舗と導入していない店舗の売上高を比較すると、2019年対比で19ポイントの差がついており、導入店舗の売上はコロナ前の2019年度の水準に回復しました。このサービスが、非常に大きな売上の伸びにつながっております。

14ページの右側に、四半期ごとの『クリック＆トライ』での予約点数の推移を記載していますが、第3四半期は第2四半期の約29,000点から、66,000点と急拡大しています。



23 

02

TOPICS

1. OMO戦略
2. **アパレル事業**
3. ライフスタイル事業

2. アパレル事業

ONWARD

23区 【オンワード樺山】

23区

- 3Q累計の既存店舗売上は前年同期比**+32%**と大幅伸長。
- 商品価値向上や一部価格の見直しにより顧客単価が上昇。
- 外出需要を捉えたスカート・ドレスの売上が倍増超。

3Q累計売上高
(前年同期比) **+23.4%**



自由区 【オンワード樺山】

自由区

- 3Q累計の既存店舗売上は前年同期比**+29%**と大幅増。
- 上質感のある商品型数を増やし顧客単価が上昇。
- 主力のニットやワンピースを強化し売上が大幅増。

3Q累計売上高
(前年同期比) **+12.6%**



ICB 【オンワード樺山】

ICB

- 3Q累計の既存店舗売上は前年同期比**+24%**の高成長。
- 着用シーンや気温に応じたライトアウターのバリエーション拡大で売上伸長。

3Q累計売上高
(前年同期比) **+12.3%**



16ページには好調なレディースの基幹ブランドの動向について記載しています。

第3四半期累計の売上高は、既存店を中心に『23区』が前年同期比23%増、『自由区』が13%増、『ICB』が12%増と、いずれも力強い伸びを記録しました。こうした基幹ブランドの復調が、グループの業績を大きく押し上げております。



02

TOPICS

1. OMO戦略
2. アパレル事業
3. ライフスタイル事業

3. ライフスタイル事業

ONWARD

クリエイティブヨーコ

■ コラボレーションストア『PET PARADISE×上島珈琲店』オープン。 売上は好調にスタート。

- ペット同伴で入店・飲食が可能なコラボレーションストア『PET PARADISE（ペットパラダイス）×上島珈琲店』を、2022年10月20日（木）に「ふかや花園プレミアム・アウトレット」に出店。
- 幅広い品ぞろえと異業種との協業により、ペットを家族の一員として外出や外食を共にしたいというニーズに対応。



3Q累計売上高
(前年同期比) +13.6%

CREATIVE YOKO CO., LTD.
www.creativetyoko.co.jp

18ページには、ライフスタイル事業においてペット・ホームライフ事業を行うクリエイティブヨーコのトピックスをご紹介します。

昨年10月に、クリエイティブヨーコの『PET PARADISE』と上島珈琲店様のコラボレーションストアを埼玉県深谷市にオープンしました。ペットを家族の一員として外出や外食を共にしたいというニーズに応えた店舗で、オープン以来売上高は好調に推移しております。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

10

03

サステナブル経営

— オンワード樫山

- 2022年春に発売した『steppi by UNFILO (ステッピ・バイ・アンフィーロ)』において、2022年度の「グッドデザイン賞」(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞。
- 可能な限りの再生素材を採用し、使用済みペットボトルやプラスチック廃材をリサイクルしたポリエステルヤーンを使用。
- アウトソールも中敷きもリサイクル素材を配合。さらに、靴箱もショッパーもなくすることで輸送におけるCO2排出の低減にも挑戦。
- 初年度の販売数は10,000足に達する見込み。



— オンワード商事

- オンワード商事は、ANAとの共同アップサイクル※の取り組みで、飛行機の廃棄対象となったシートカバーをルームシューズに生まれ変わらせた「ANA特製ルームシューズ」を共同開発。
- また、スリッパ生産量日本一の山形県河北町の職人が一つひとつ手作りするため、伝統産業活性化による地方創生に貢献できる点も特徴。
- 第1、第2回の予約抽選販売において、計120足の販売に対し、応募総数は約4,000件、抽選倍率30倍の人気。

※アップサイクル:本来であれば廃棄されるはずのものに付加価値を加え、別の新しい製品にアップグレードして生まれ変わらせることで、持続可能なモノづくりを推進する取り組み。



20ページは、サステナブル経営の事例についてご紹介しています。

ページ左側、オンワード樫山では、2022年春に、使用済みペットボトルなどのリサイクル素材を利用した靴『ステッピ・バイ・アンフィーロ』を発売しました。この「ステッピ」は、約2年をかけて独自開発した環境にも足にも優しいニットパンプスで、2022年度の『グッドデザイン賞』を受賞いたしました。販売も非常に好調で、初年度の販売数は10,000足に達する見込みです。

ページ右側、オンワード商事では、ANA様との共同の取り組みで、飛行機の廃材対象となったシートカバーを利用したルームシューズを開発いたしました。

第1回および第2回の予約抽選販売において、合計120足の販売に対して約4,000件の応募があり、人気の商品となっております。

続きまして、財務状況についてご説明させていただきます。

22ページをご覧ください。



組曲

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

21

04

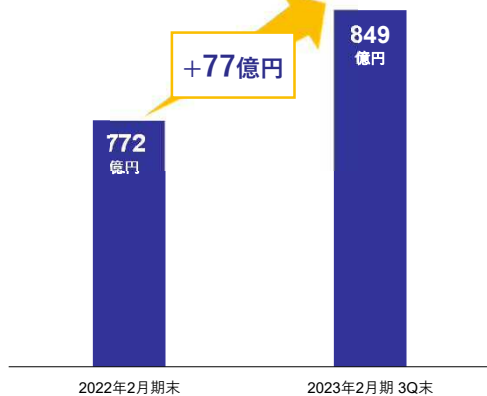
財務狀況

連結貸借対照表

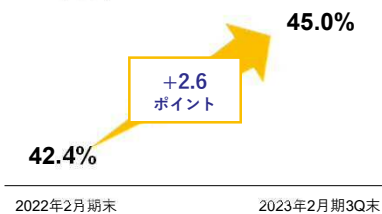
ONWARD

- 純資産は、前期末比77億円増加し849億円。
- 自己資本比率は、前期末比2.6ポイント上昇し45.0%。
- 流動比率は、前期末比5.3ポイント上昇し113.8%となり、経営の安全性がさらに向上。

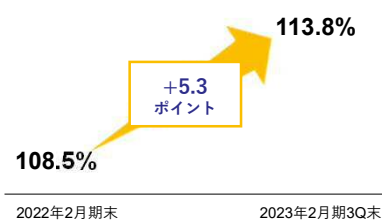
純資産



自己資本比率



流動比率

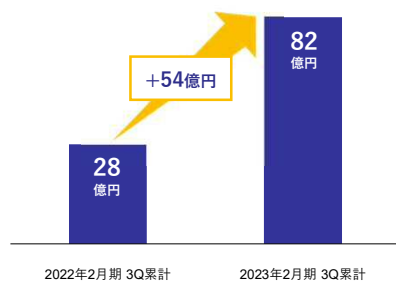


当第3四半期末の純資産は、前期末に比べ77億円増加し、849億円となりました。その結果、自己資本比率は前期末から2.6ポイント上昇し、45.0%となり、適正水準を維持しております。

また、流動比率も、5.3ポイント上昇して113.8%となり、安全性の目安である100%以上を維持しております。

■ EBITDA

- EBITDAは、前年同期から54億円増加し、82億円に拡大。
(通期では100億円に増加する見込み)



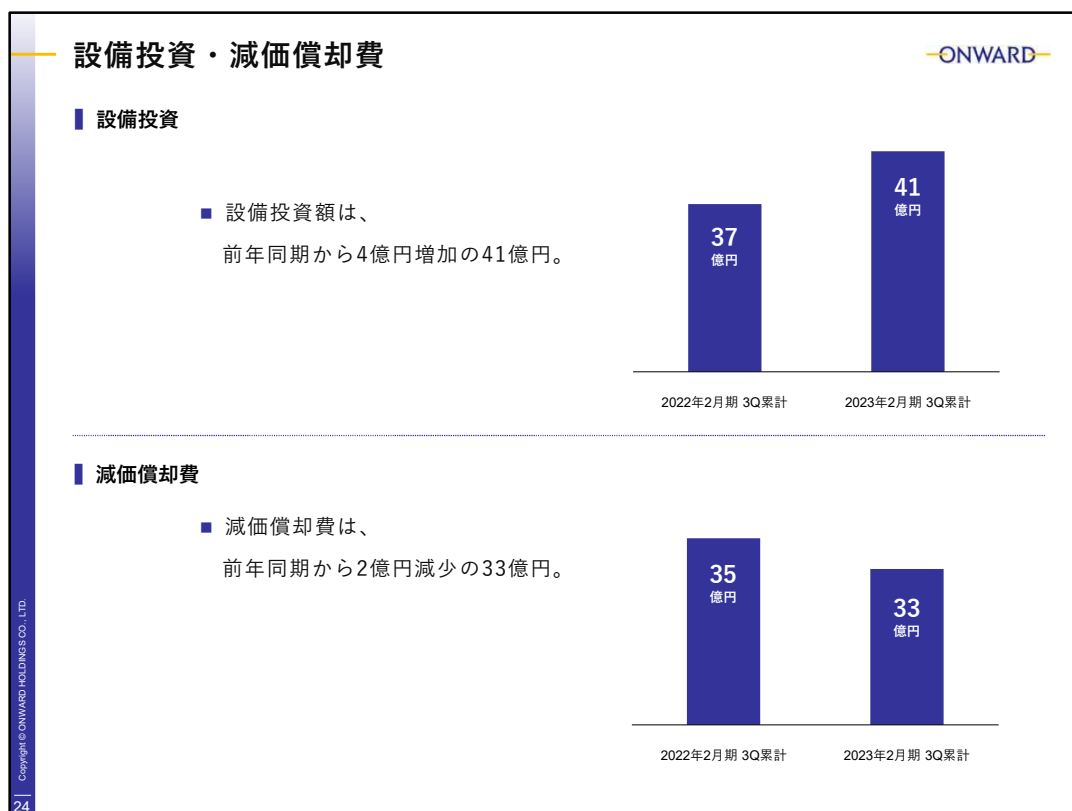
■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、営業損益・経常損益が黒字化したことに伴い14億円のプラス。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、グアムのホテル事業売却により39億円のプラス。
- フリーキャッシュ・フロー（営業キャッシュ・フロー+投資キャッシュ・フロー）は53億円のプラス。

23ページはEBITDA、キャッシュ・フローについて記載しています。

EBITDAにつきましては、前年同期から54億円増加し82億円となりました。

キャッシュ・フローにつきましても、営業キャッシュ・フローで14億円のプラス、投資キャッシュ・フローで39億円のプラス、それらを合計したフリーキャッシュ・フローは53億円のプラスとなりました。



24ページは、設備投資、減価償却費について記載しています。

設備投資につきましては、前年同期から4億円増の41億円、減価償却は2億円減の33億円となりました。

25ページ以降は、当第3四半期の決算に関連する追加情報をデータブックとしてご提供しておりますので、ご参照いただければと思います。

以上で、私からの第3四半期決算説明を終えさせていただきます。



Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

25

05

DATA BOOK

2023年2月期 3Q期間 連結決算実績



(百万円)	2022年2月期		2023年2月期		前年同期比			
	3Q期間	売上比	3Q期間	売上比	増減額	増減率	売上比増減	
1	売上高	43,570	-	48,231	-	+4,661	+10.7%	-
2	売上総利益	24,441	56.1%	27,890	57.8%	+3,449	+14.1%	+1.7%
3	販管費	22,095	50.7%	23,768	49.3%	+1,673	+7.6%	△1.4%
4	営業利益	2,346	5.4%	4,122	8.5%	+1,776	+75.7%	+3.1%
5	経常利益	2,103	4.8%	4,044	8.4%	+1,941	+92.3%	+3.6%
6	当期純利益	634	1.5%	2,247	4.7%	+1,613	+254.4%	+3.2%
7	EBITDA*	3,519	8.1%	5,406	11.2%	+1,887	+53.6%	+3.1%

* EBITDA (営業利益+減価償却費およびのれん償却費)

2023年2月期 3Q期間 セグメント別売上高・営業利益



(百万円)			2022年2月期 3Q期間	2023年2月期 3Q期間	前年同期比	
					増減額	増減率
1	アパレル	売上高	33,598	35,699	+2,101	+6.3%
		営業利益	2,063	3,585	+1,522	+73.8%
2	ライフスタイル	売上高	9,549	10,045	+496	+5.2%
		営業利益	879	949	+70	+8.0%
3	国内合計	売上高	43,147	45,744	+2,597	+6.0%
		営業利益	2,942	4,534	+1,592	+54.1%
4	アパレル	売上高	2,674	4,175	+1,501	+56.1%
		営業利益	△287	△72	+215	↗
5	ライフスタイル	売上高	456	526	+70	+15.4%
		営業利益	△133	△71	+62	↗
6	海外合計	売上高	3,130	4,701	+1,571	+50.2%
		営業利益	△420	△143	+277	↗
7	連結合計	売上高	43,570	48,231	+4,661	+10.7%
		営業利益	2,346	4,122	+1,776	+75.7%

※ 国内アパレル (オンワード樫山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社)

※ 国内ライフスタイル (チャコット クリエイトブヨーコ 大和 他7社 計10社)

※ 海外アパレル (JOSEPHグループ8社 J.PRESS 恩五徳時尚貿易 他8社 計18社)

※ 海外ライフスタイル (フリードオプロンドン 他3社 計4社)

※ セグメントの内訳は各社の単純合算 連結合計には相殺消去含む

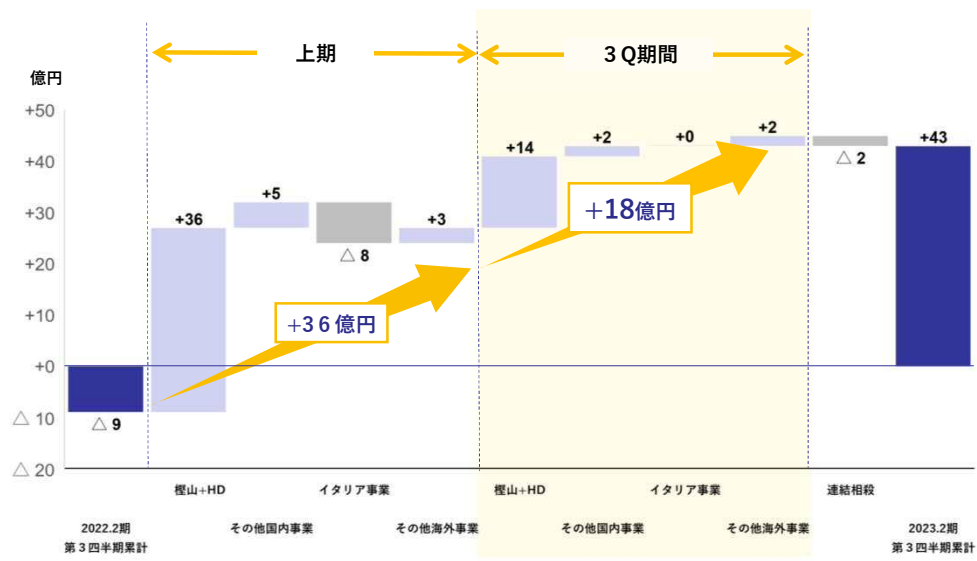
2023年2月期 3Q期間 事業会社別売上高・営業利益



(百万円)			2022年2月期	2023年2月期	前年同期比	
			3Q期間	3Q期間	増減額	増減率
1	オンワード樺山+HD	売上高	26,433	28,815	+2,382	+9.0%
		営業利益	1,967	3,336	+1,369	+69.6%
2	オンワード商事	売上高	3,295	3,319	+24	+0.7%
		営業利益	203	205	+2	+1.0%
3	アイランド	売上高	1,516	1,649	+133	+8.8%
		営業利益	7	120	+113	+1614.3%
4	チャコット	売上高	2,058	2,223	+165	+8.0%
		営業利益	192	199	+7	+3.6%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	1,357	1,504	+147	+10.8%
		営業利益	145	146	+1	+0.7%
6	大和	売上高	4,931	5,330	+399	+8.1%
		営業利益	325	495	+170	+52.3%
7	国内グループ小計 (オンワード樺山+HD除く)	売上高	16,714	16,929	+215	+1.3%
		営業利益	975	1,198	+223	+22.9%
8	ヨーロッパ合計	売上高	1,877	2,720	+843	+44.9%
		営業利益	△73	171	+244	↗
9	アメリカ合計	売上高	181	321	+140	+77.3%
		営業利益	△89	△158	△69	↘
10	アジア合計	売上高	982	1,516	+534	+54.4%
		営業利益	△95	△91	+4	↗
11	GRAMリゾート合計	売上高	90	144	+54	+60.0%
		営業利益	△163	△65	+98	↗
12	海外グループ小計	売上高	3,130	4,701	+1,571	+50.2%
		営業利益	△420	△143	+277	↗
13	連結合計	売上高	43,570	48,231	+4,661	+10.7%
		営業利益	2,346	4,122	+1,776	+75.7%

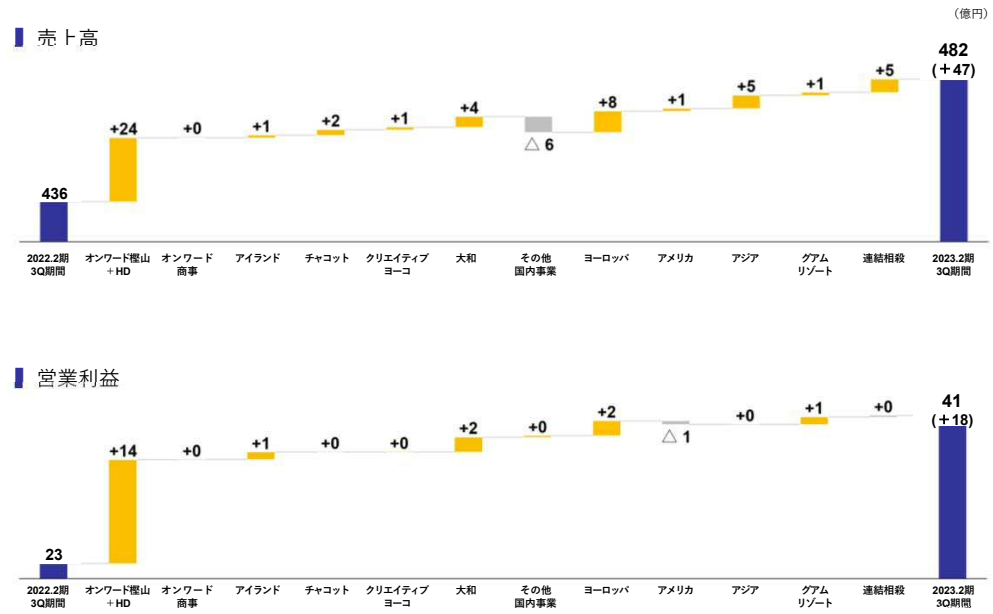
※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年2月期 3Q期間 営業利益増減



2023年2月期 3Q期間 事業会社別売上高・営業利益増減

ONWARD



2023年2月期 3Q期間 販路別売上高



(百万円)		百貨店	SCその他	リアル販路計	自社EC	他社ECモール	EC計	売上高計	EC化率	自社EC比率
1	オンワード樫山	12,001	9,257	21,258	6,658	899	7,557	28,815	26.2%	88.1%
2	売上構成比	41.6%	32.1%	73.8%	23.1%	3.1%	26.2%	100.0%		
3	前年同期比	+13.5%	+3.5%	+8.9%	+9.1%	+9.9%	+9.2%	+9.0%	±0.0%	△0.1%
4	国内EC対象事業会社8社*	2,125	6,100	8,225	3,464	664	4,128	12,353	33.4%	83.9%
5	国内EC対象事業会社計	14,126	15,357	29,483	10,122	1,563	11,685	41,168	28.4%	86.6%
6	売上構成比	34.3%	37.3%	71.6%	24.6%	3.8%	28.4%	100.0%		
7	前年同期比	+9.7%	+2.3%	+5.7%	+15.0%	+14.6%	+14.9%	+8.2%	+1.7%	±0.0%

※ Eコマースを運営している以下国内事業会社8社の合計
 (アイランド、ティアクラスセ、オンワードパーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、インティメイツ、KOKOBUY)

2023年2月期 3Q累計 事業会社別売上高・営業利益



(百万円)			2022年2月期 3Q累計	2023年2月期 3Q累計	前年同期比	
					増減額	増減率
1	オンワード樺山+HD	売上高	67,825	74,870	+7,045	+10.4%
		営業利益	△1,271	3,668	+4,939	↗
2	オンワード商事	売上高	10,873	10,184	△689	△6.3%
		営業利益	1,270	728	△542	△42.7%
3	アイランド	売上高	4,329	4,619	+290	+6.7%
		営業利益	△117	142	+259	↗
4	チャコット	売上高	6,503	6,937	+434	+6.7%
		営業利益	475	541	+66	+13.9%
5	クリエイティブヨーコ	売上高	3,580	4,066	+486	+13.6%
		営業利益	213	254	+41	+19.2%
6	大和	売上高	14,213	15,436	+1,223	+8.6%
		営業利益	873	1,198	+325	+37.2%
7	国内グループ小計 (オンワード樺山+HD除く)	売上高	49,065	49,733	+668	+1.4%
		営業利益	2,073	2,834	+761	+36.7%
8	ヨーロッパ合計	売上高	10,699	6,964	△3,735	△34.9%
		営業利益	△120	△343	△223	↘
9	アメリカ合計	売上高	478	908	+430	+90.0%
		営業利益	△320	△409	△89	↘
10	アジア合計	売上高	3,193	4,246	+1,053	+33.0%
		営業利益	△173	△302	△129	↘
11	グアムリゾート合計	売上高	240	316	+76	+31.7%
		営業利益	△475	△221	+254	↗
12	海外グループ小計	売上高	14,610	12,434	△2,176	△14.9%
		営業利益	△1,088	△1,275	△187	↘
13	連結合計	売上高	124,355	130,397	+6,042	+4.9%
		営業利益	△948	4,315	+5,263	↗

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年2月期 通期 セグメント別業績予想（前期比）



		2022年2月期	2023年2月期	増減額 (B-A)	増減率 (B/A)	
		実績 (A)	今回予想 (2023年1月発表)(B)			
(百万円)						
1	アパレル	売上高	120,516	127,246	+6,730	+5.6%
		営業利益	△1,254	5,213	+6,467	↗
2	ライフ スタイル	売上高	37,905	38,891	+986	+2.6%
		営業利益	2,598	2,713	+115	+4.4%
3	国内合計	売上高	158,421	166,137	+7,716	+4.9%
		営業利益	1,344	7,926	+6,582	+489.7%
4	アパレル	売上高	17,838	15,627	△2,211	△12.4%
		営業利益	△679	△1,206	△527	↘
5	ライフ スタイル	売上高	1,750	2,069	+319	+18.2%
		営業利益	△814	△237	+577	↗
6	海外合計	売上高	19,588	17,696	△1,892	△9.7%
		営業利益	△1,493	△1,443	+50	↗
7	連結合計	売上高	168,453	175,000	+6,547	+3.9%
		営業利益	△1,079	5,000	+6,079	↗

※ 国内アパレル（オンワード樺山 オンワード商事 アイランド オンワードパーソナルスタイル 他7社 計11社）
 ※ 国内ライフスタイル（チャコット クリエイティブヨーコ 大和 他7社 計10社）
 ※ 海外アパレル（JOSEPHグループ8社 J.PRESS 惣五徳時尚貿易 他8社 計18社）
 ※ 海外ライフスタイル（フリードオブロンドン 他3社 計4社）
 ※ セグメントの内訳は各社の単独決算 連結合計には相殺消去含む

2023年2月期 通期 事業会社別業績予想（前期比）



		2022年2月期	2023年2月期	増減額	増減率
		実績 (A)	今回予想 (2023年1月発表)(B)	(B-A)	(B/A)
(百万円)					
1	オンワード樺山+HD	売上高 91,395	99,590	+8,195	+9.0%
		営業利益 △1,857	4,366	+6,223	↗
2	オンワード商事	売上高 14,760	13,768	△992	△6.7%
		営業利益 1,788	1,104	△684	△38.3%
3	アイランド	売上高 5,753	6,259	+506	+8.8%
		営業利益 △124	175	+299	↗
4	チャコット	売上高 8,311	8,946	+635	+7.6%
		営業利益 332	399	+67	+20.2%
5	クリエイティブヨーコ	売上高 5,194	5,747	+553	+10.6%
		営業利益 319	411	+92	+28.8%
6	大和	売上高 20,326	20,637	+311	+1.5%
		営業利益 1,280	1,353	+73	+5.7%
7	国内グループ小計 (オンワード樺山+HD除く)	売上高 67,026	66,547	△479	△0.7%
		営業利益 3,201	3,560	+359	+11.2%
8	ヨーロッパ合計	売上高 13,182	10,029	△3,153	△23.9%
		営業利益 △156	△207	△51	↘
9	アメリカ合計	売上高 803	1,232	+429	+53.4%
		営業利益 △451	△572	△121	↘
10	アジア合計	売上高 5,204	6,015	+811	+15.6%
		営業利益 △182	△394	△212	↘
11	グアムリゾート合計	売上高 399	420	+21	+5.3%
		営業利益 △704	△270	+434	↗
12	海外グループ合計	売上高 19,588	17,696	△1,892	△9.7%
		営業利益 △1,493	△1,443	+50	↗
13	連結合計	売上高 168,453	175,000	+6,547	+3.9%
		営業利益 △1,079	5,000	+6,079	↗

※ グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

2023年2月期 3Q末 連結貸借対照表



(億円)	2022年2月期	2023年2月期	増減	増減要因	
	期末	3Q末			
1	資産合計	1,577	1,660	+83	
2	流動資産	605	677	+72	
3	現金及び預金	152	130	△22	
4	売掛金	142	176	+34	季節要因および売上高拡大
5	棚卸資産	268	327	+59	季節要因および売上高拡大に向けた仕入増加
6	固定資産	972	982	+10	
7	有形固定資産	580	561	△19	グアムのホテル売却
8	無形固定資産	93	96	+3	
9	投資その他の資産	298	324	+26	評価替えに伴う投資有価証券の増加
10	負債合計	804	810	+6	
11	買掛金	182	236	+54	季節要因および売上高拡大に向けた仕入増加
12	借入金	351	312	△39	借入金の返済
13	その他	271	261	△10	
14	純資産合計	772	849	+77	
15	自己資本比率	42.4%	45.0%	+2.6%	
16	流動比率	108.5%	113.8%	+5.3%	

2023年2月期 3Q期間 連結 販管費/営業外損益・特別損益の内訳 ONWARD

(百万円)	2022年2月期 3Q期間	2023年2月期 3Q期間	前年同期比 (増減率)
1 人件費	8,641	8,058	△6.7%
2 賃借料	6,461	6,874	+6.4%
3 運賃運搬費	1,502	1,564	+4.1%
4 広告宣伝費	987	2,118	+114.6%
5 減価償却費	791	884	+11.8%
6 その他	3,713	4,270	+15.0%
7 販管費計	22,095	23,769	+7.6%
8 特別損失振替額	249	-	-
9 (参考) 実質販管費	22,344	23,769	+6.4%

(百万円)	2022年2月期 3Q期間	2023年2月期 3Q期間	前年同期比 (増減率)
10 営業外収益	347	139	△59.9%
11 受取利息・配当金	26	8	△69.2%
12 為替差益	△109	80	-
13 助成金収入	354	24	△93.2%
14 その他	77	27	△64.9%
15 営業外費用	589	219	△62.8%
16 支払利息	83	103	+24.1%
17 持分法による投資損失	24	8	△66.7%
18 その他	483	108	△77.6%
19 営業外損益計	△242	△80	-
20 特別利益	938	1	△99.9%
21 固定資産売却益	835	0	△99.9%
22 投資有価証券売却益	11	3	△72.7%
23 関係会社株式売却益	-	△3	-
24 その他	93	1	△98.9%
25 特別損失	832	395	△52.5%
26 臨時休業等による損失	249	-	-
27 関係会社株式売却損	-	-	-
28 関係会社整理損	-	-	-
29 減損損失	506	253	△50.0%
30 その他	79	142	+79.7%
31 特別損益	106	△394	-

2023年2月期 3Q累計 連結 販管費/営業外損益・特別損益の内訳 ONWARD

(百万円)	2022年2月期 3Q累計	2023年2月期 3Q累計	前年同期比 (増減率)
1 人件費	26,775	26,334	△1.6%
2 賃借料	17,331	18,437	+6.4%
3 運賃運搬費	4,585	4,647	+1.4%
4 広告宣伝費	3,797	3,963	+4.4%
5 減価償却費	2,634	2,754	+4.6%
6 その他	11,285	12,175	+7.9%
7 販管費計	66,407	68,310	+2.9%
8 特別損失振替額	1,311	4	△99.7%
9 (参考) 実質販管費	67,718	68,314	+0.9%

(百万円)	2022年2月期 3Q累計	2023年2月期 3Q累計	前年同期比 (増減率)
10 営業外収益	1,591	1,255	△21.1%
11 受取利息・配当金	137	127	△7.3%
12 為替差益	-	788	-
13 助成金収入	804	133	△83.4%
14 その他	650	205	△68.5%
15 営業外費用	1,401	873	△37.7%
16 支払利息	304	234	△23.0%
17 持分法による投資損失	66	42	△36.4%
18 その他	1,031	595	△42.2%
19 営業外損益計	190	382	+101.1%
20 特別利益	21,308	1,456	△93.2%
21 固定資産売却益	17,924	0	△99.9%
22 投資有価証券売却益	103	123	+19.4%
23 関係会社株式売却益	2,944	1,303	△55.7%
24 その他	337	29	△91.4%
25 特別損失	6,225	880	△85.9%
26 臨時休業等による損失	1,311	4	△99.7%
27 関係会社株式売却損	1,829	-	-
28 関係会社整理損	1,968	-	-
29 減損損失	728	723	△0.7%
30 その他	389	153	△60.7%
31 特別損益	15,083	576	△96.2%

2023年2月期 3Q期間・3Q累計 グループ別実績



	(百万円)	2022年2月期実績		2023年2月期		前年同期比 (増減額)		前年同期比 (増減率)	
		3Q期間	3Q累計	3Q期間	3Q累計	3Q期間	3Q累計	3Q期間	3Q累計
オンワード +HD +H +D +H +D +H +D	1 売上高	26,433	67,825	28,815	74,870	+2,382	+7,045	+9.0%	+10.4%
	2 売上総利益	16,122	38,977	18,177	45,335	+2,055	+6,358	+12.7%	+16.3%
	(売上比)	(61.0%)	(57.5%)	(63.1%)	(60.6%)			(+2.1%)	(+3.1%)
	3 販管費	14,155	40,248	14,841	41,667	+686	+1,419	+4.8%	+3.5%
(売上比)	(53.6%)	(59.3%)	(51.5%)	(55.7%)			(△2.1%)	(△3.6%)	
4 営業利益	1,967	△1,271	3,336	3,668	+1,369	+4,939	+69.6%		
(売上比)	(7.4%)	-	(11.6%)	(4.9%)			(+4.2%)	↗	
国内グループ 小計	5 売上高	16,714	49,065	16,929	49,733	+215	+668	+1.3%	+1.4%
	6 売上総利益	8,393	24,581	8,490	24,646	+97	+65	+1.2%	+0.3%
	(売上比)	(50.2%)	(50.1%)	(50.2%)	(49.6%)			(±0.0%)	(△0.5%)
	7 販管費	7,418	22,508	7,292	21,812	△126	△696	△1.7%	△3.1%
(売上比)	(44.4%)	(45.9%)	(43.0%)	(43.9%)			(△1.4%)	(△2.0%)	
8 営業利益	975	2,073	1,198	2,834	+223	+761	+22.9%	+36.7%	
(売上比)	(5.8%)	(4.2%)	(7.1%)	(5.7%)			(+1.3%)	(+1.5%)	
海外グループ 小計	9 売上高	3,130	14,610	4,701	12,434	+1,571	△2,176	+50.2%	△14.9%
	10 売上総利益	1,323	5,707	2,016	5,177	+693	△530	+52.4%	△9.3%
	(売上比)	(42.3%)	(39.1%)	(42.9%)	(41.6%)			(+0.6%)	(+2.5%)
	11 販管費	1,743	6,795	2,159	6,452	+416	△343	+23.9%	△5.0%
(売上比)	(55.7%)	(46.5%)	(45.9%)	(51.9%)			(△9.8%)	(+5.4%)	
12 営業利益	△420	△1,088	△143	△1,275	+277	△187			
(売上比)	-	-	-	-				↗ ↘	

※ 単純合算

ONWARD

ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。